

「工事対応科目」について

「工事対応科目」とは、原価関連の科目（計科目が「未成材料費計」～「工事経費計（間）」に属する科目）に関して、それぞれ対応する未成工事支出金科目、完成工事原価科目のコードを表しています。また、未成工事受入金科目（計科目が「未成工事受入金計」に属する科目）と完成工事高科目（計科目が「完成工事高」に属する科目）は各々が対応しています。これらの対応科目は、間接費配賦処理や完成振替処理、未成振替処理、原価振替処理などの相手科目として関わってきます。一部の科目を除いては、各科目に工事対応科目が3つずつ設定されますが、これらの関係は下表の通りです。

総勘定科目	対応科目 (リスト左)	対応科目 (リスト中)	対応科目 (リスト右)
未成工事支出金科目	未成工事支出金科目 (間)	完成工事原価科目	完成工事原価科目(間)
未成工事支出金科目 (間)	未成工事支出金科目	完成工事原価科目(間)	完成工事原価科目
完成工事原価科目	完成工事原価科目(間)	未成工事支出金科目	未成工事支出金科目 (間)
完成工事原価科目(間)	完成工事原価科目	未成工事支出金科目 (間)	未成工事支出金科目
未成工事受入金科目	完成工事高科目		
完成工事高科目	未成工事受入金科目		

また、[導入処理]-[科目体系登録]-[総勘定科目登録]-[総勘定科目名登録]メニューで、新規に総勘定科目を登録する場合に、[計科目名]で「未成工事受入金計」・「完成工事高」・「未成材料費計」～「工事経費計（間）」を選択して キーを押すと、[工事対応科目 設定]ダイアログボックスが表示され、上記の「対応科目」に相当する科目を入力します。それにより、一つの総勘定科目を登録することで、当該科目に対応する相手科目も自動的に登録することができます。

更に、これらの原価関連の科目に補助科目を登録した場合は、対応科目に該当する総勘定科目にも、同様のコードと名称で補助科目が登録されます。